

NKオンリーワン通信

VOL. 32

発行：新潟北高等学校

24060832

今年度はオンリーワンスクール推進事業の研究開発校の指定も外れ楽々?? (本当はチョー忙しい日々を過ごしていたのですよ) していたのに、特色ある学校づくりの一環として同事業を継続することとなり、前年度と同様に県立幼稚園の年長・年中の皆さんを招待することとした。



そこからが生徒会執行部と担当の先生方のご苦勞が始まった。ああでもない、こうでもないカンカンガクガクの議論(*_*)が行われたものの、そこは北高生!!当日の成功疑いなしと思われる立ち振る舞いであった。

「空に鉄を浮かべよう! ~できないことを可能にしよう~」



これは今年度の本校体育祭のテーマである。ウ〜ム、今年のテーマは一風変わっていてしかも高尚なテーマ! 生徒会執行部の連中、なかなかやるじゃんなど感じたのは私だけだろうか。

前日までの応援練習においても意外にしっかりと統率されており、リーダー諸君の手腕に拍手を送りたい。しかし、当日一部生徒がルールを無視した行動を取ったことは大変残念(>_<)であった。もう一度我が身を振り返り自省を促したい。

同じ色を見つけよう！！おかし取り仲良しレース



県立幼稚園児の皆さんの「おはようございます」の元気な声に気圧されて本校生徒もタジタジ(?)本校もあいさつはしっかりしていると来訪者の方々からお褒めの言葉をいただくのに……。なんということだ。日々の登校指導やPTA主催のあいさつ運動などでの指導は言うまでもなく、平生からの指導の大切さを再認識させられた。県立幼稚園の先生方のご努力に改めて敬意を表したい。

「あんな頃が君たちにもあったんだよ。本当に、かわいかったんだよ(^_-)その頃は何も思わず純粹だったじゃない！そうそう、その頃の君たちを思い出してもらいたいもんだなあ。」

思い出したらどうしなければならないか、聡明な君たちなら分かるよね。そして、それを継続させることの大切さも！

やっぱり「人の振り見て我が振り直せ」っていうことでしょうか？かく言う筆を執る私は、いつも「人の振り見て我が振り直せ」ということを感じつつ生活をしているものの、明日からしっかりやっっていこうと気づかされた出来事であった。

元気なあいさつそのままに「同じ色を見つけよう！おかし取り仲良しレース」に突入。本校生も笑顔で対応し、お互いに楽しめたレースであった。

奇跡のアイランド：ドラえもんダンス



さあ、園児お待ちかねのドラえもんダンス。お兄さん、お姉さんたち（本校2年生30名）と一緒にドラえもん（今年の配役は本校校長）の待つアイランドに向けて堂々??の入場(^_^)v

実はね、今年は用意周到で前月末日から毎昼休みには格技場でダンスの練習に明け暮れていたんだよ。園児の皆さんに少しでも喜んでもらおうと、本校職員による配役も決めたと同時に、そのキャラクターの衣装製作も手分けしてやるという協力体制であった。これには頭の下がる思いであり、感謝_(._.)_の気持ちでいっぱいである(*^_^*)





【北高のジャイアン登場!!】
「しずかちゃん、ピ〜ンチ」(1/3)



終幕～佐渡おけさ・新潟甚句～



本校体育祭のフィナーレを飾るのは、「佐渡おけさ」と「新潟甚句」。今時……、などと思う人もいるかも知れないが、今だからこそなんだということを知ってもらいたいものだ。しかも、全員が笠を被っての踊りなのだ。本校でしか味わうことのできない体育祭を今後も継承して行ってもらいたいと考えている。終わりは始まりに他ならない。もうすでに時は経過している。止まっている暇はないのだ。常に明日に向け、今をしっかり生きてゆかなければならないのだ。

やれやれ、本年度の一大イベントが終演した。みんなはこれからやらなければならないことはもう分かっているよね。そんな折しも、来週からは保護者面談週間にとつにゅ～う(^^)/~~~

この広報は、新潟北高等学校ホームページ

http://www.niigataki-h.nein.ed.jp/gakkou/top_gakkou.htmlにも掲載しています。